
千葉大学アカデミック・リンク
オンラインオープンディ

千葉大学大学院人文公共学府 大学教育・学修支援コースの紹介

竹内 比呂也

千葉大学副学長（教育改革・学修支援）、アカデミック・リンク・センター長、附属図書館長、国際未来教育基幹高等教育センター長、大学院人文科学研究院教授

Always Aim Higher



CHIBA UNIVERSITY

大学院人文公共学府

大学教育・学修支援コース（博士前期課程）



総括的テーマ
プロジェクト研究・実習（1、2）

総合的テーマ
教育学修支援マネジメント（1、2）

基盤的テーマ（教育支援モジュール）

- 6) 教育・学修におけるDX
- 7) 教材開発支援と著作権
- 8) 教育プログラムの設計と評価



基盤的テーマ（学修支援モジュール）

- 9) アカデミック・アドバイジング
- 10) 学習環境の設計と評価
- 11) 教育・学習の方法と学修支援サービス



基盤的テーマ（コア・モジュール）

- 1) 高等教育をめぐる政策動向
- 2) 自校理解
- 3) 学生・学修の調査と分析
- 4) 学生の抱える困難の理解と支援
- 5) 高等教育の国際化対応

エントリーレベルプログラム（8時間、2025年度開始予定、対面）

履修証明プログラム
（120時間）

履修証明プログラム
ショートコース

大学院人文公共学府 大学教育・学修支援コース

- ALPS履修証明プログラム修了者のさらなる学習機会とすべく構築（2018-）
- 2024年度までに4名が修了（うちALPS修了後の入学者は2名。残りの2名も大学院の授業の一環としてALPS基盤的テーマを履修）。
- 全員が大学職員で長期履修制度を活用。
- 情報通信技術を活用した授業の実施（オンデマンド、オンライン同時双方向）

履修体系（2025年度入学生）

終了要件	科目区分			単位数
32単位以上	共通基礎科目群 (6単位以上)	Common Grounds		2単位
		専門基礎系	①Graduate commons	専門基礎系、実践 応用学術系の双方 を履修し、合計4 単位以上
			②Academic Communication	
		実践・応用学術系	③Career development	
			④Fieldwork	
			⑤Data science	
	専門科目群 (22単位以上)	①分野間横断科目		4単位以上
		②専門科目		12単位以上
		③特別研究		6 単位
	自由選択科目			4単位以上

履修体系（2025年度入学生）

- 全員留学

- 留学科目の単位を修得することが必須。学府開講科目の中では、次に掲載する科目（以下、学府開講留学科目と呼ぶ。）のいずれかの単位を修得することで留学を認定
 - 「海外フィールドワーク」「国際インターンシップA～E」「グローバルスタディ」
 - なお「グローバルスタディ」は、オンライン学修と外国語によるプレゼンテーションに基づき留学を認定する科目であり、海外渡航は伴わない。

指導体制と修士論文（2025年度入学生）

- 指導体制

- 選択するコース（履修プログラム）と主・副指導教員を決定
- 主指導教員は選択したコースを担当する教員、副指導教員は本学府の研究指導にあたる教員が担当
- 毎年度当初に、主指導教員とともに「研究指導計画書」を作成し、これに沿って研究指導を受ける

- 修士論文

- 指導教員チーム（主指導教員、副指導教員）の助言と指導の下で研究を行い修士論文を作成
- 修士論文の準備および作成に対する指導は特別研究Ⅰ～Ⅲという必修科目で
- 修士論文提出資格として、一定の単位数の履修が必要
- 主査（主指導教員）と副査2～4名（内1名は副指導教員）からなる審査委員会で論文の審査および最終試験を行う

大学院人文公共学府大学教育・学修支援コースの専門科目

専門教育論

大学評価論

大学マネジメント論

高等教育政策論

現代学生論

メンタルヘルス論

大学教務論

課外活動論

留学支援論

アカデミックアドバイス論

教育方法論

キャリア教育論

教育評価論

アドミッション論

学習環境論

学習支援ICTシステム論

学修行動と学修支援サービス

大学教育・学修支援のための調査論

大学教育・学修支援特論

大学教育・学修支援インターンシップ

大学教育・学修支援実践演習（Ⅰ、Ⅱ）

高等教育制度論*

*学府共通基礎科目として開講